



# 長崎大学の教育改革推進戦略

長崎大学 大学教育イノベーションセンター

川越 明日香

# 本報告の構成

I

長崎大学の教学IR整備状況

II

学生による授業評価

III

全体傾向で見るPROGとIRiSの相関分析

IV

個別授業におけるPROGとIRiSの相関分析

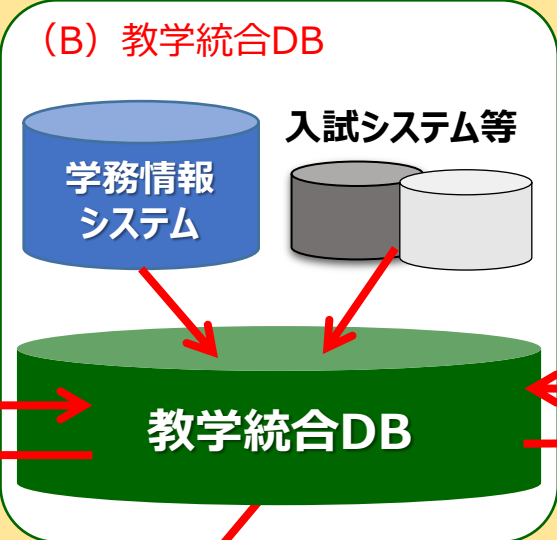
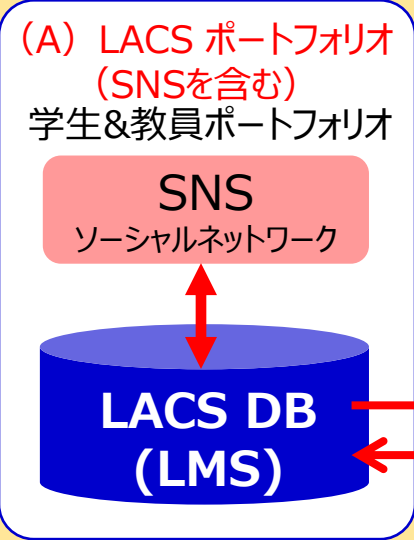
V

今後の課題

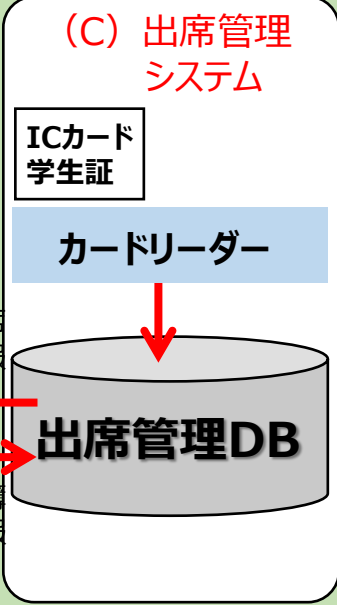


### ICT基盤センター（システム担当）

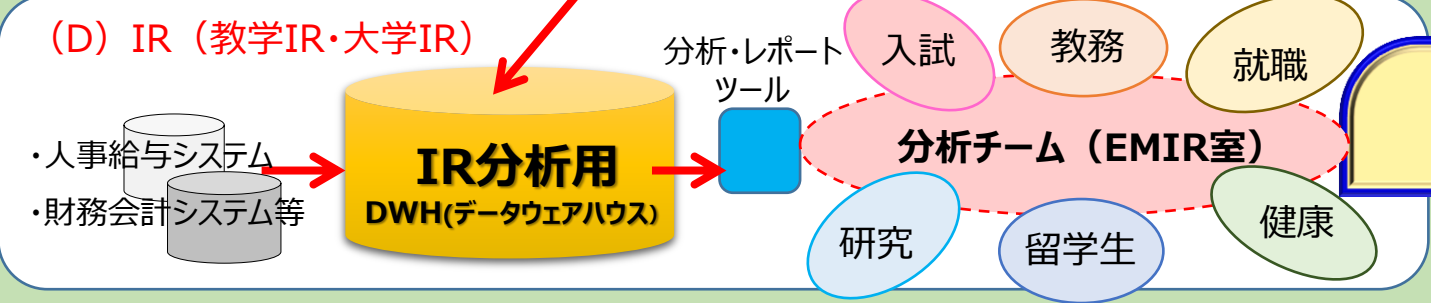
平成24年度 ~ 平成25年度



平成26年度



平成26年度



### 大学教育 イノベーション センター (分析担当)

アドミッション  
部門

学士課程教育  
部門

教育改善  
部門

教学IR  
部門



# 「学生による授業評価」の経緯

平成14年度 「学生による授業評価」の全学実施

平成23年度 システム改修に伴う実施方法の変更

全学共通7項目の設定

3年間で全科目を実施

授業評価結果の公開 (web)

授業担当者のコメント記入

平成24年度 全学モジュール科目 全科目実施

アクティブラーニングに関する5項目追加

平成25年度

## 公開範囲

授業担当者

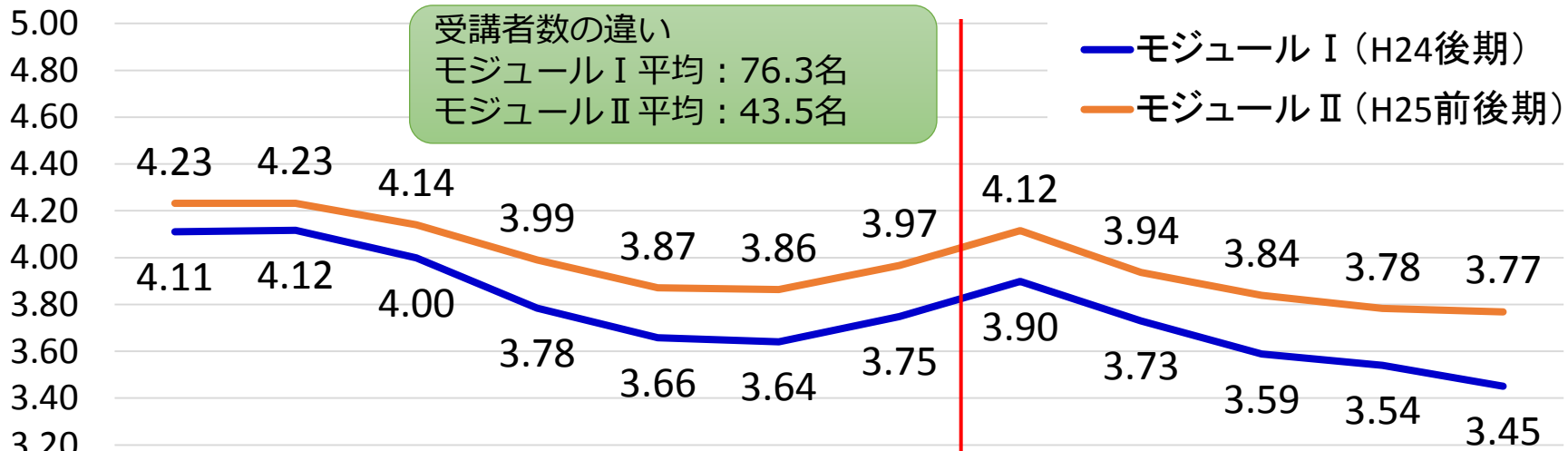
授業担当者と  
受講生

学内教職員

学外



# モジュール I (H24後期) × モジュール II (H25前後期) 全体集計結果

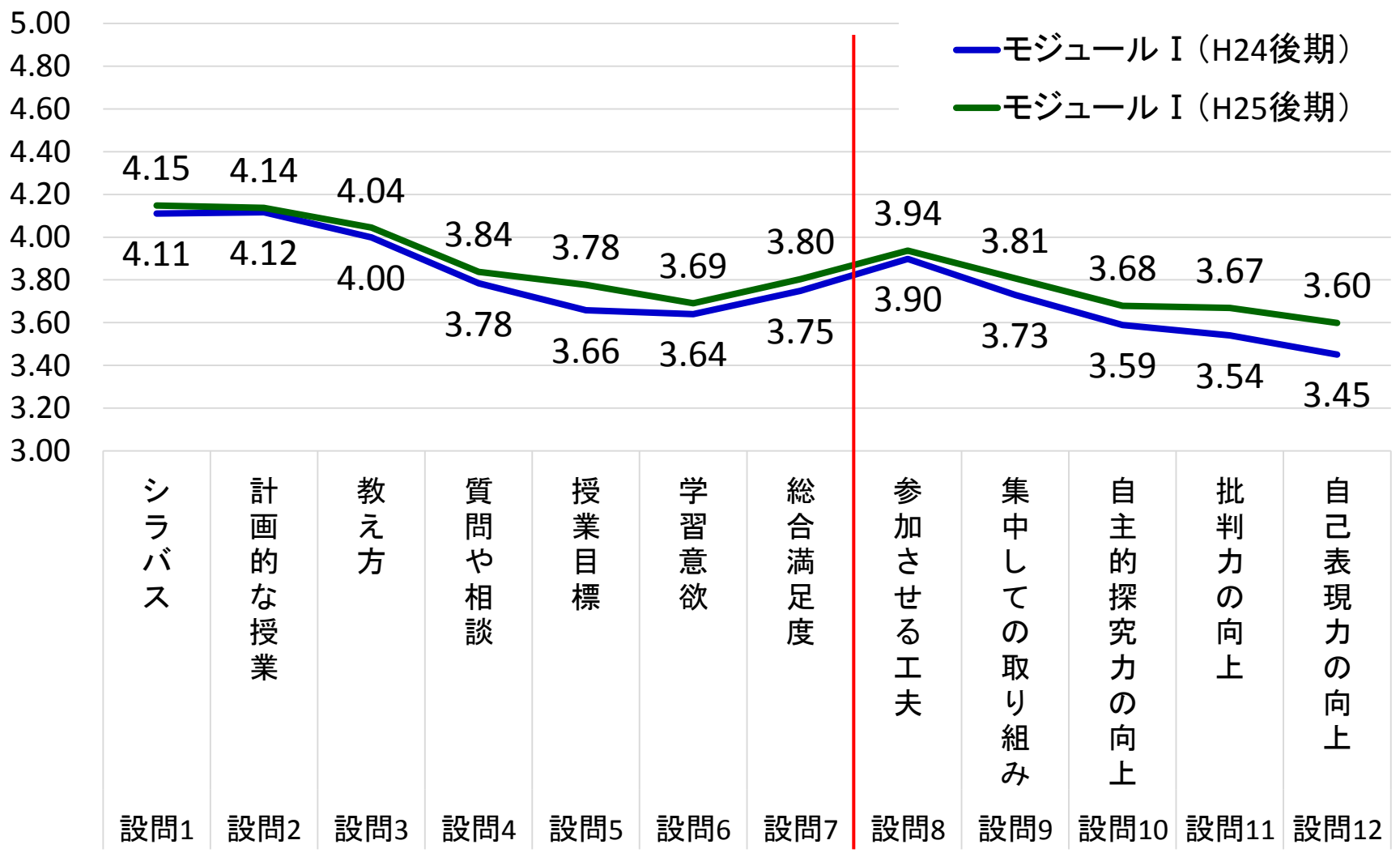


シラバス	計画的な授業	教え方	質問や相談	授業目標	学習意欲	総合満足度	参加させる工夫	集中しての取り組み	自主的探究力の向上	批判力の向上	自己表現力の向上
設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12

評価5: そう思う、評価4: どちらかといえばそう思う、評価3: どちらともいえない、評価2: どちらかといえばそう思わない、評価1: そう思わない



# モジュール I (H24後期) × モジュール I (H25後期) 全体集計結果



評価5: そう思う、評価4: どちらかといえばそう思う、評価3: どちらともいえない、評価2: どちらかといえばそう思わない、評価1: そう思わない

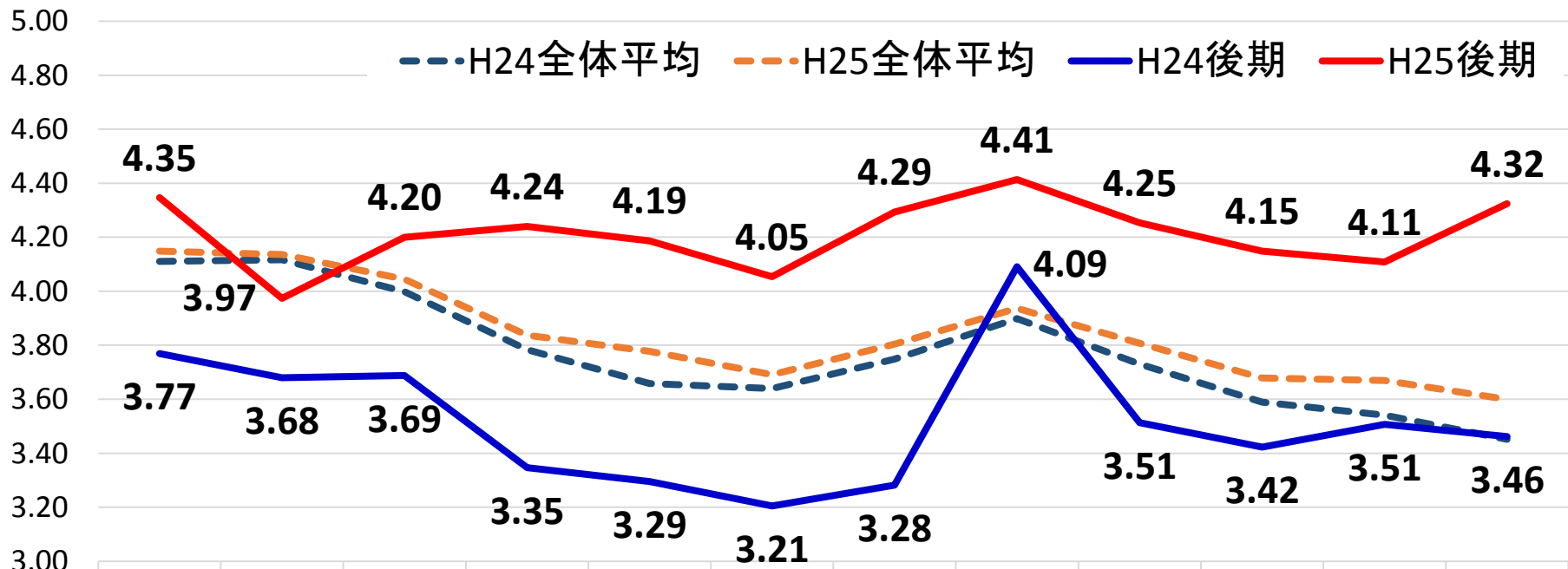


# 科目単位での授業評価結果

モジュールテーマ	ことばと文化	
モジュールⅠ	マスメディアと表現	心とことば
	ジェンダーとことば	
	文字とことば	多文化理解とことば
モジュールⅡ	脳とことば	音楽と表現
	ICTとことば	数と表現



# 「マスメディアと表現」の授業評価結果



シラバス	計画的な授業	教え方	質問や相談	授業目標	学習意欲	総合満足度	参加させる工夫	集中しての取り組み	自主的探究力の向上	批判力の向上	自己表現力の向上
設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12



# 授業改善の視点

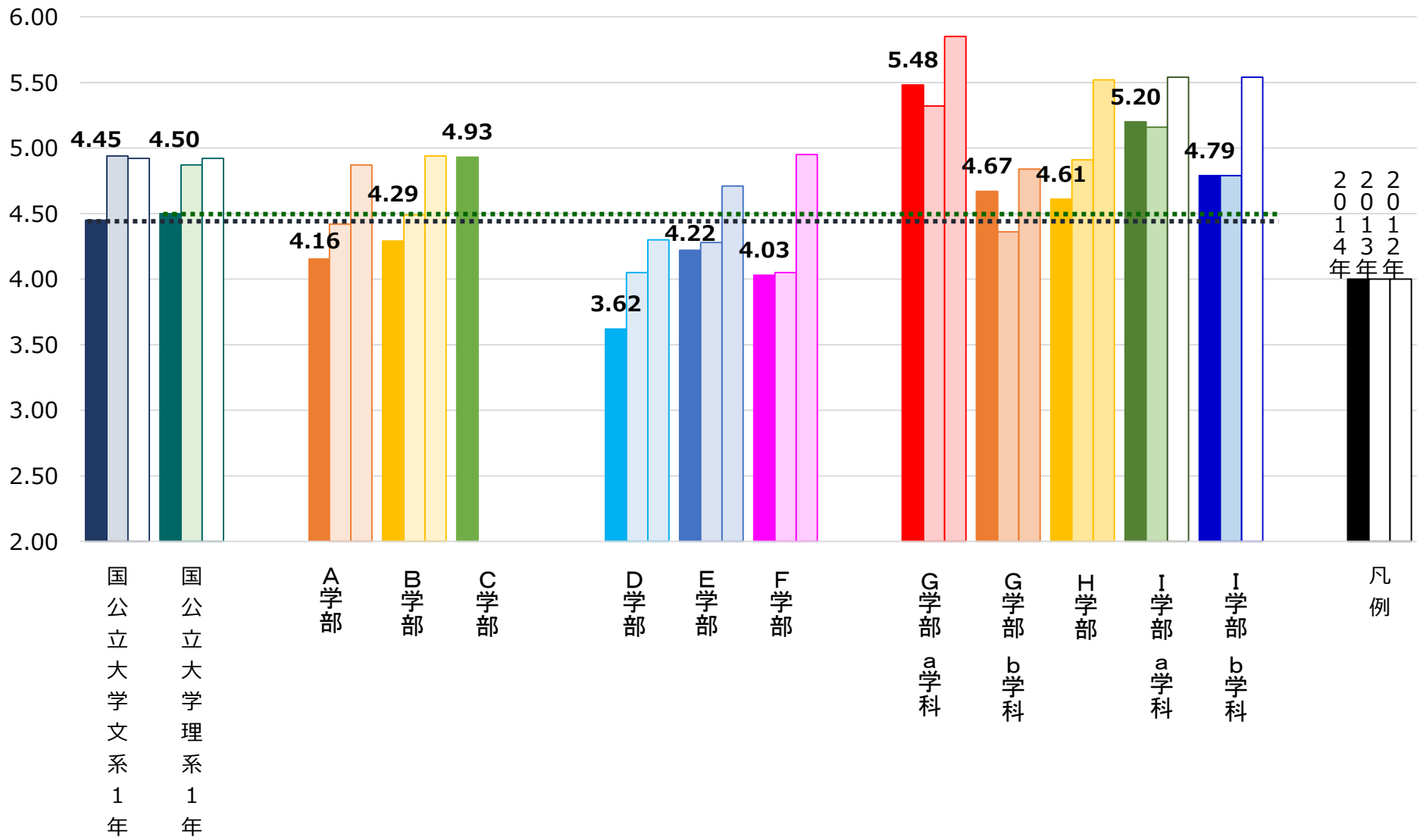
授業の流れを明確に伝え、予習レポートの趣旨を徹底

グループ作業の役割分担を授業毎に変え、責任体制を明確化

学生の実態把握をもとに、授業の方針が立てられるようになった

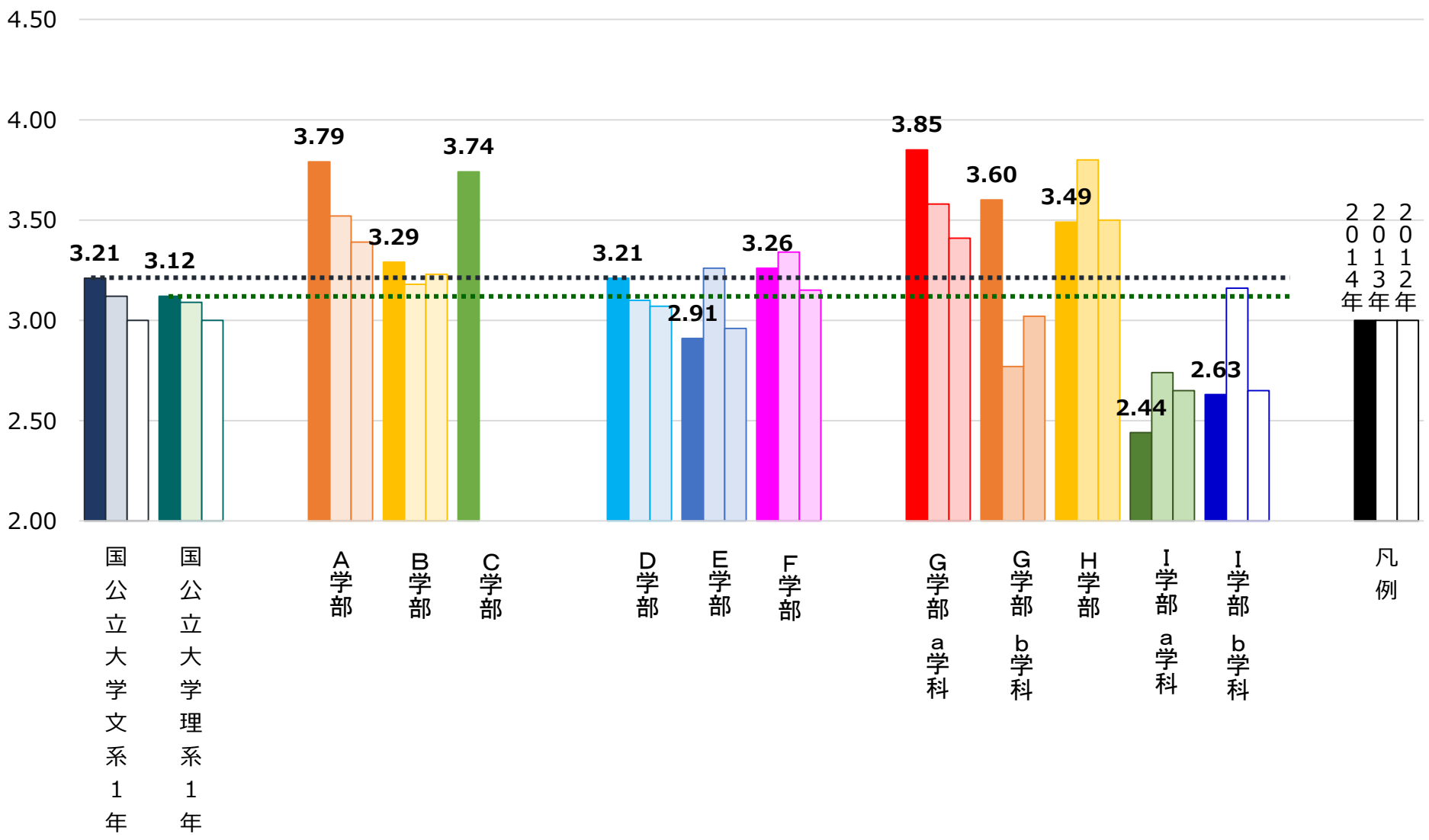


# PROG集計結果推移 (リテラシー総合)





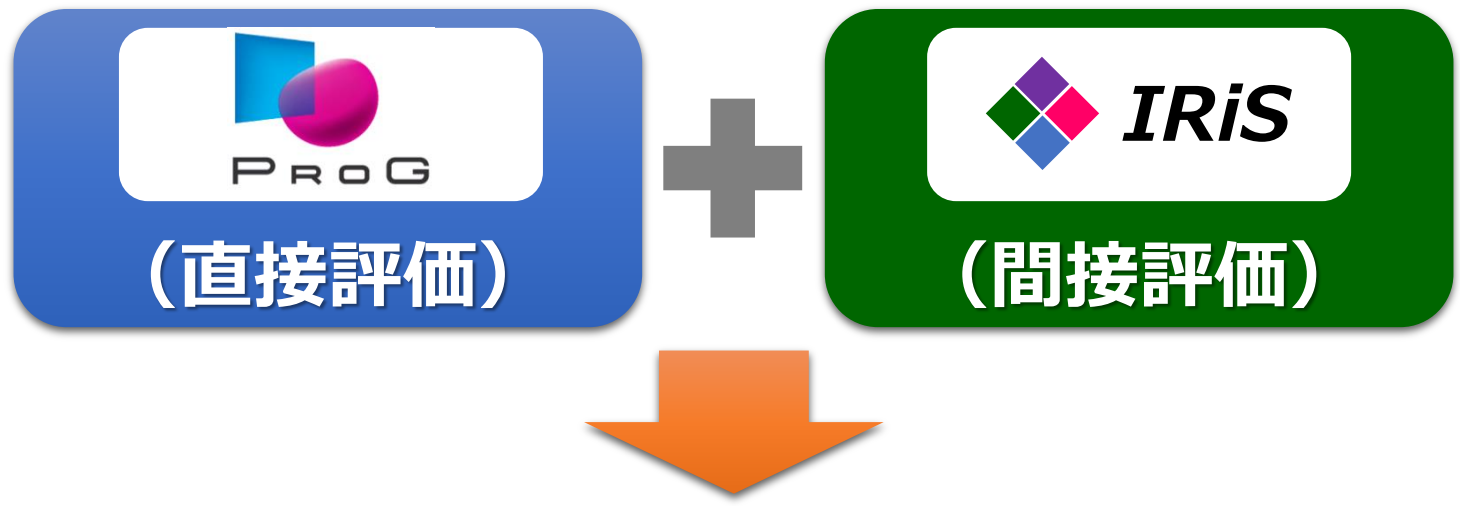
# PROG集計結果推移 (コンピテンシー総合)



# Research Question

## 学修成果の可視化

どのような学生が来て、どう伸びたか？



学生の伸びを見たい

# パイロット調査

対象： 2012年度 韓国語受講生  
韓国語 I (192名)  
韓国語 II (191名)

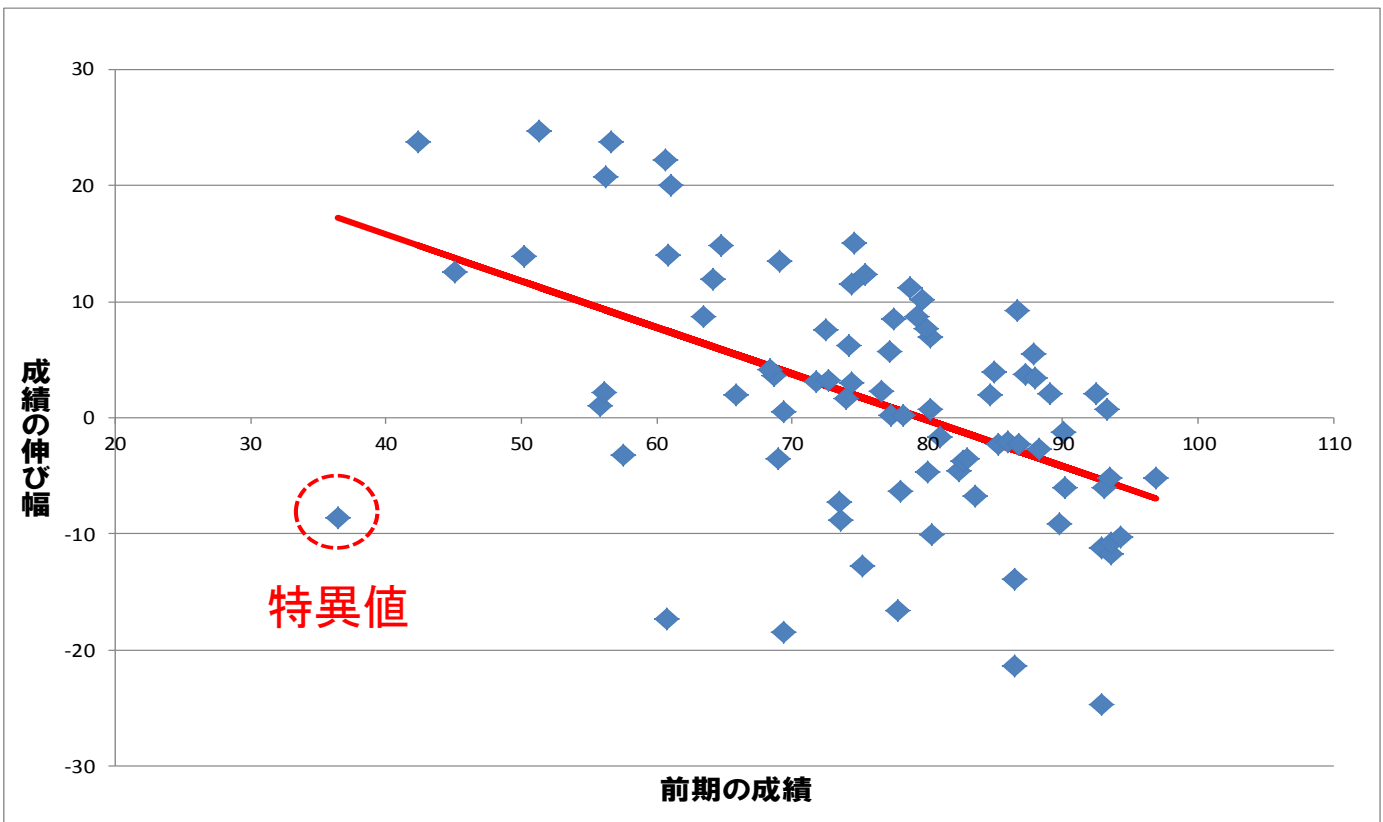
初習外国語を分析の対象とする理由  
高校までの学力が影響しない

成績





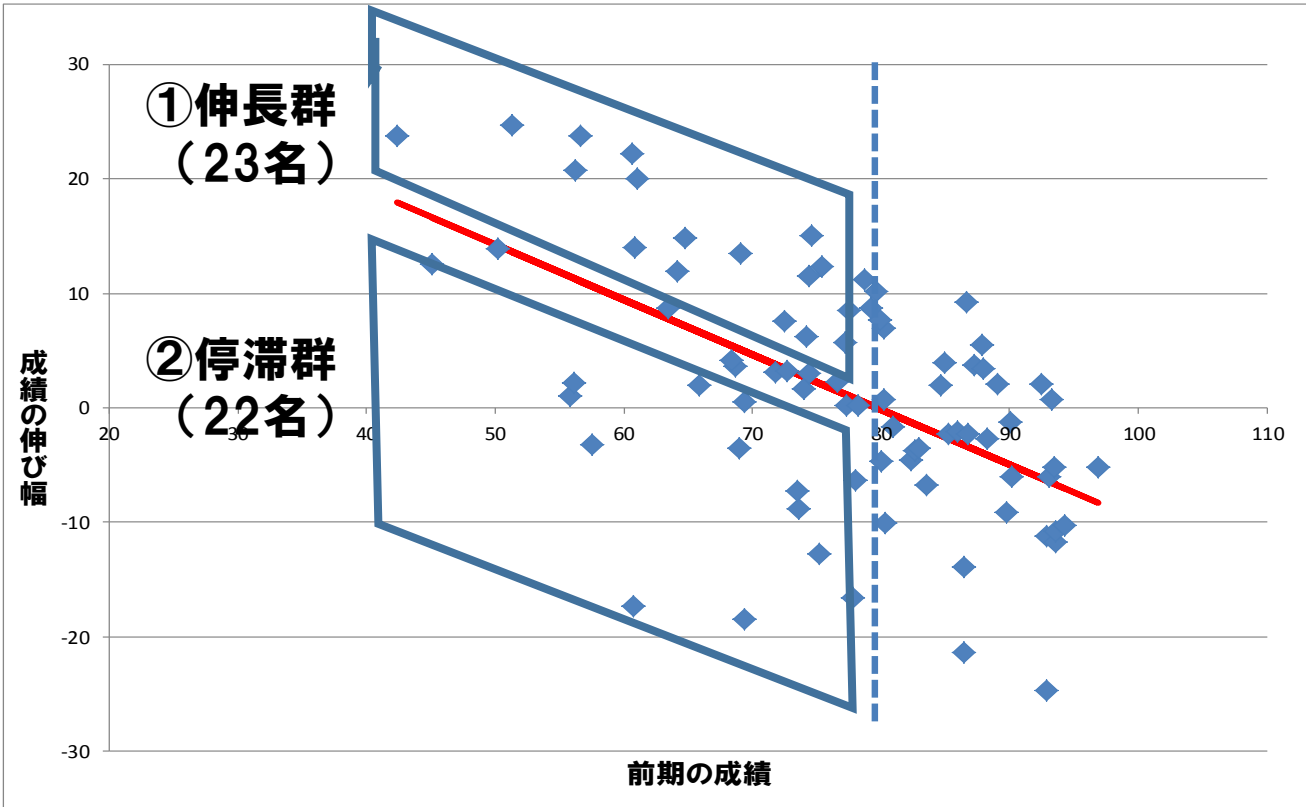
# 前期成績と成績伸び幅との関係（特異値を含む）



韓国語の成績の前期と後期の伸び幅を比べると、前期の成績の高低と関係が深い。つまり、前期の成績が低いほど、伸び幅が大きくなる傾向が見られる。



# 前期成績と成績伸び幅との関係（特異値を除く）



モデルの精度を高めるため、特異値を除いて再計算をすると、成績伸長群と成績停滞群に分けることができる。

# 学修成果の可視化に向けて

## ① 大学での「評価」と社会での「評価」を一致させる

大学での学修評価が社会で通用するものとする

## ② ジェネリックスキルをいかに可視化するか

PROGやIRiSを活用した可視化

## ③ 教員の評価力とフィードバック力を高める

大学での成長を確実なものにする